

管内の5歳児健診への取り組み

- 大須賀裕子(現日向保健所) 後藤美樹(日之影町)
- 押方久美子 藤本智子(高千穂町)
- 佐藤蓉子(五ヶ瀬町) 荒瀬 みえ(高千穂保健所)

はじめに

- 5歳児の特徴
 - ・ 物事の判断ができる
 - ・ 集団での活動ができる
- 5歳児健診

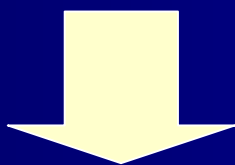
日之影町：平成17年度開始

高千穂町、五ヶ瀬町：平成18年度開始

5歳児健診開始までの経過

※3歳児健診～就学時健診

児の発育に関して、気になることがあっても指導のきっかけがない。



適切な支援を行っていくことが必要。

5歳児健診の開始！

目的

- ・発達障害の早期発見及び発達の支援
- ・関係機関との連携による支援体制の構築

実施状況

| | 健診状況 | 回数 | 従事者 |
|------|----------------------|--------|--------------|
| 高千穂町 | 5歳児健診 | 月1回 | 医師 保健師 |
| 日之影町 | 5歳児健診 | 3ヶ月に1回 | 看護師 栄養士 |
| 五ヶ瀬町 | 幼児健診 (1.6歳・3歳・5歳) | 月1回 | 保育士 家庭相談員 |

※ 医師

高千穂町(高千穂町立病院)、日之影町(宮崎大学)

五ヶ瀬町(熊本大学)

健診の流れ(高千穂町)

前もって対象児の保育所・幼稚園での情報を得る。
当日朝:カンファレンス

13:00～ 受付

問診・検査(ジャンケン・しりとり・動作模倣等)・身体測定を順不同で実施。

14:00～ 集団遊び(15分間)

14:15～ 内科健診→保健指導→栄養指導

健診後:カンファレンス

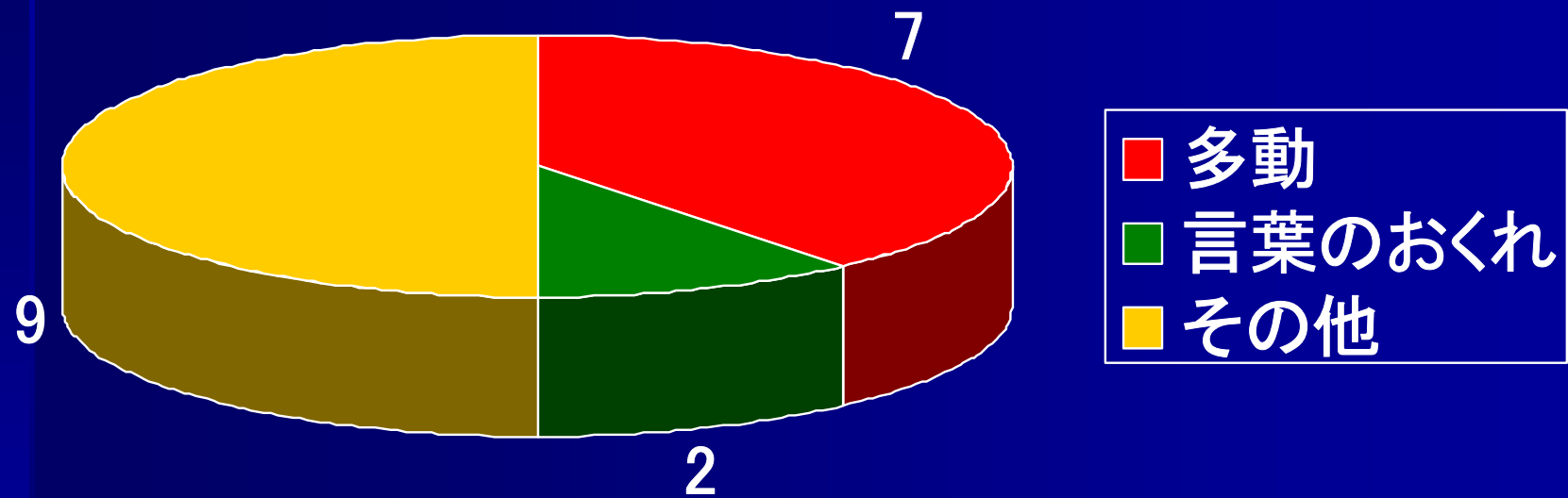
受診状況

| 平成18年度 | 対象者数 | 受診者数 | 受診率 |
|--------|------|------|-------|
| 日之影町 | 35 | 34 | 97.1% |
| 高千穂町 | 120 | 110 | 91.7% |
| 五ヶ瀬町 | 52 | 47 | 90.4% |

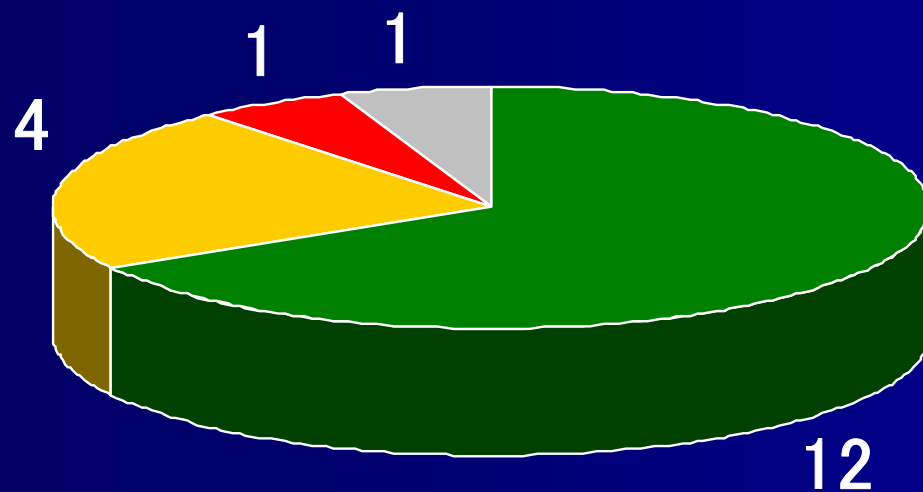
平成18年度受診結果

| 平成18年度 | 異常なし | 要指導 | 要観察 (精神) | 要観察 (身体) | 要観察 (生活) | 要精密 (身体) | 管理中 (身体) | 要医療 (身体) |
|--------|------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 日之影町 | 34 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 高千穂町 | 67 | 0 | 18 | 10 | 4 | 1 | 8 | 2 |
| 五ヶ瀬町 | 42 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |

精神発達要観察者の内訳

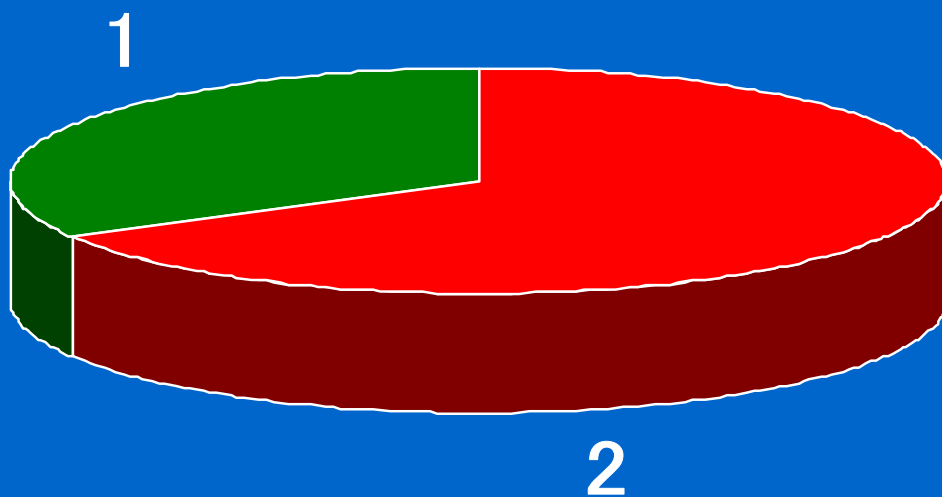


精神発達要観察者について 3歳児健診での結果



受診結果（五ヶ瀬町）

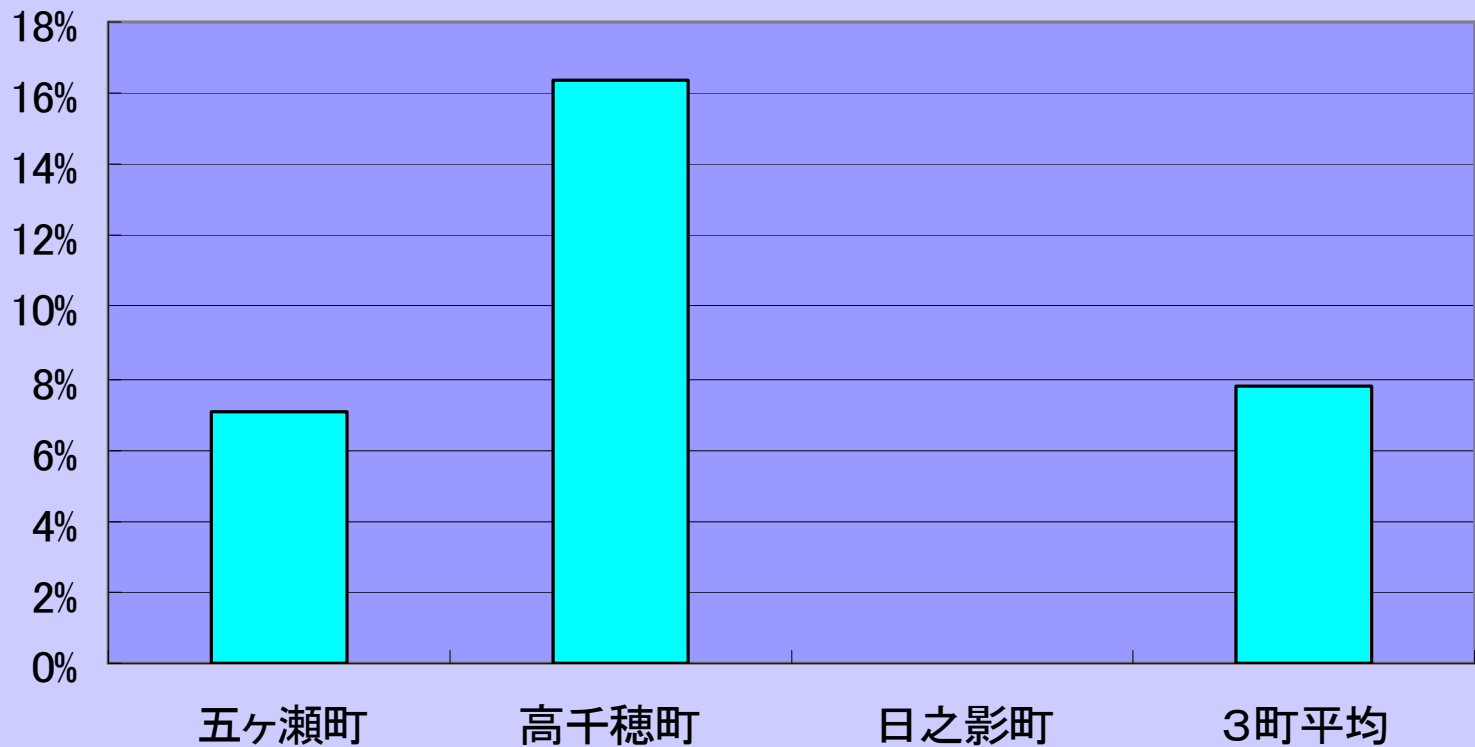
要観察者内訳



■ 多動

■ 言葉のおくれ

精神発達要観察者の割合



考察

精神発達面での要観察児は、五ヶ瀬町では受診者数の7.1%、高千穂町では16.4%、日之影町では0%であった

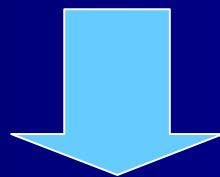


各町のばらつき



専門スタッフの確保、追跡調査の必要性

検査(ジャンケン・しりとり・動作模倣等)
や集団遊びの観察に時間がかかる



読み聞かせ等、健診の進め方の工夫が必要

現在は保育所、幼稚園との連携が主



今後、健診を受診した児が就学へ



教育委員会との連携

おわりに

『ひむかの子地域療育推進事業』が
平成18年度で終了。



平成19年度から

『西臼杵母子育成事業』として実施。

実施主体：高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町
(事務局は高千穂町)